

# 2014年 年頭所感 及び活動報告と今後の事業計画

発行：日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

ここに新たな2014年を迎えるにあたり、ご挨拶させていただくとともに、昨年一年間の活動報告並びに今後の事業計画に関して、ご案内申し上げます。

昨年は、医薬品ネット販売問題に明け、ネット販売に暮れた1年でした。1月11日、最高裁で国が敗訴したことからスタートし、2月に「一般用医薬品のインターネット販売等の新たなルールに関する検討会」の設置、6月の安倍総理による「一般用医薬品のネット販売解禁宣言」、8月にルール作りの検討会と、市販後調査品目と劇薬指定品目の専門家検討会が起こり、11月から始まった臨時国会に、薬事法改正案が提出されました。劇薬指定品目のネット販売禁止と、「要指導医薬品」という新たな分類で、市販後調査期間、最長3年はネット販売をしない品目ができ、おそらくは、本年4月より新たなルールで、一般用医薬品の販売をすることになると思います。

調剤ポイント問題につきましては厚生労働省が示したクレジットカード・電子マネーの禁止には、いまだ決着がつかっていませんが、生活者、業界、そして保険制度にとって、納得のいく着地点が見出せることを期待しております。

4月からの新・改正薬事法の施行、消費税増税等々、問題は山積しておりますが、高齢化に対応した医療制度改革、セルフメディケーション推進は待ったなしの状況です。スイッチOTCの拡大を目指して新しいスキームの研究をすることと合わせ、健康食品の表示規制緩和への対応にも取り組んでまいります。そして、ドラッグストアの大きな主力カテゴリーの一つにしたいと考えます。

私たちJACDSは、これからも、ドラッグストアが地域生活者にとって身近な「街の健康ステーション」として活用いただけるよう、サポートしてまいります。

報道関係の皆様には、引き続き、JACDSの活動に対し、ご協力並びにご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 年頭所感
2. 2013年の実施内容と今後の事業計画
3. 第14回JAPANドラッグストアショー開催概要

本件に関するお問い合わせ先

**日本チェーンドラッグストア協会 事務局**

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階  
TEL. 045-474-1311 FAX. 045-474-2569

## 1. 年頭所感

新年 明けましておめでとうございます。

昨年は、医薬品ネット販売問題に明け、ネット販売に暮れた1年でした。1月11日、最高裁で国が敗訴したことからスタートし、2月に「一般用医薬品のインターネット販売等の新たなルールに関する検討会」の設置、6月の安倍総理による「一般用医薬品のネット販売解禁宣言」、8月にルール作りの検討会と市販後調査品目と劇薬指定品目の専門家検討会が起り、11月から始まった臨時国会に、薬事法改正案が提出されました。劇薬指定品目のネット販売禁止と、「要指導医薬品」という新たな分類で、市販後調査期間、最長3年はネット販売をしない品目ができ、おそらくは、本年4月より新たなルールで、一般用医薬品の販売をすることになると思います。

調剤ポイント問題につきましては厚生労働省が示したクレジットカード・電子マネーの禁止にはいまだ決着がついていませんが、生活者、業界、そして保険制度にとって満足のゆく着地点が見出せることを期待しております。

これらの様々な問題があるなか、今年の主な活動方針は次のとおりです。

### 1. セルフメディケーション推進の環境づくりを強力に行う

わが国の今後の医療を支えていく制度導入に向けて、業界をあげて全力で取り組む

- 1) 新薬効のスイッチOTC化に向けた新たなスキームづくりの働きかけを行う
- 2) セルフメディケーションの政策提言と実現に向けた活動を行う
- 3) 4月施行の改正薬事法に対応できるよう、会員企業をサポートする
- 4) 面分業調剤を推進する活動を行なう
- 5) 登録販売者の組織化を強力に推進する（年度目標3万人）

### 2. ドラッグストア業界発展に向け、活動を強化する

事業発展に向け、情報提供、効率化推進、人材育成を進める

- 1) 調査・研究プロジェクトを基に、業界発展の活動を強化する
- 2) ドラッグストア業界研究レポート報告会を継続的に開催する（春・秋）
- 3) 製・配・販の協働のインフラ整備活動（流通BMS）を普及促進していく
- 4) JACDS組織力のさらなる強化をはかる
- 5) 社会貢献活動の輪を広げる

### 3. 健康産業育成のための活動を強力に行う

多くの分野の理解者と連携してより良い医療の実現を目指す

- 1) 他業界、他団体との連携強化を図る
- 2) 中央並びに地方行政に対する意見具申および意見交換を積極的に実施していく
- 3) セルフメディケーション推進、備蓄啓発など、国民へのPR活動を強化する
- 4) JACDS設立15周年記念セレモニーを開催する

今年はこれらを活動方針として、12の委員会および臨機応変なテーマに対応するためのプロジェクト活動を積極的に行なってまいります。

今、ドラッグストア業界は国民の健康維持・増進に一層の貢献をするため、大きく変わろうとしています。JACDSはこのドラッグストア業界の発展を確実かつ効率的に進めるため、さらに正・賛助両会員企業の発展に役立つ活動を強力に行なってまいります。

どうか報道関係者並びに業界関係者の皆さまの絶大なるご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

2014年1月1日

日本チェーンドラッグストア協会  
会長 関口 信行

## 2. 2013年の実施内容と今後の事業計画

### ■2013年の実施内容

- (1) 医薬品ネット販売における検討会参加とロビー活動、提言活動
- (2) 第1類医薬品販売強化活動「アンチスタックス」業界マニュアルの作成・配布
- (3) 調査・研究プロジェクトの設置と活動スタート
- (4) 調剤ポイント付与継続タスクフォース会議
- (5) 消費税増税に対する協会方針の公表
- (6) 登録販売者試験受験のための「業界標準 実務経験実施マニュアル」作成・配布
- (7) 一般社団法人日本医薬品登録販売者協会との連携強化
- (8) 第13回ジャパンドラッグストアショーの開催
- (9) 面分業、セルフメディケーションの推進活動（レポートの作成と、第8回セルフメディケーションアワードの実施、健康（セルメ）川柳コンクールの実施）
- (10) ドラッグストア業界研究レポート報告会（6月、11月）の実施
- (11) 有事対応備蓄啓発キャンペーンの実施（ポスター10万枚、パンフレット150万枚）
- (12) 有事の際の備蓄に関する意識・実態アンケート調査の実施（約4万人調査）
- (13) 衛星電話の全国8箇所設置
- (14) 節電対応サポート
- (15) そらぶちキッズキャンプ支援募金活動
- (16) 地球温暖化対策への啓発活動（CO2の削減）
- (17) EDI（流通BMS）の普及活動
- (18) 城西大コミュニティファーマシーインターンシップの実施
- (19) 中国において日本のドラッグストアPRの実施
- (20) その他 記者意見交換会の実施（毎月2回）、など

### ■今後の事業計画

#### I 基本計画

##### 1. セルフメディケーションの推進

改正薬事法100%遵守の維持、「アンチスタックス」の育成、スイッチOTCの拡大、第1類医薬品の販売強化、薬剤師の職域拡大 —10兆円マーケットの実現—

##### 2. 業界内インフラ整備

消費税増税への対応、人材育成・資質の向上、効率的流通システムの普及、有事に備えた備蓄啓発、有事対応マニュアルの作成

##### 3. 豊かな社会実現に向けた建議

ドラッグストアの「街の健康ステーション構想」の提案、健康食品の表示規制緩和への対応、健康産業発展の提案、軽減税率の提案

#### II 具体的実施内容<各委員会の総括>

##### 1) 新・改正薬事法への対応

- (1) 4月施行の改正薬事法に会員企業が対応できるようサポートする
- (2) 医薬品ネット販売解禁に合わせた厚生労働省令の改正を要望する
- (3) 薬剤師、登録販売者ら専門家の一層活発な情報提供・相談応需を目指す
- (4) 改正薬事法運用における問題点の研究と提案
- (5) 法解釈の研究と提案

##### 2) セルフメディケーションの推進

- (1) スイッチOTCの新たなスキーム作りを目指す
- (2) 健康食品の表示規制緩和への対応

- (3) 薬局二重申請問題の解決
  - (4) 政策提言のための委員会活動
  - (5) 生活者への告知・啓発活動の強化
  - (6) 薬剤師の職域拡大の研究
  - (7) 市販後調査（PMS）への協力
  - (8) 第2回 健康（セルメ）川柳コンクールの開催
  - (9) 第9回セルフメディケーションアワードの実施 など
- 3) 面分業の推進
- (1) 調剤ポイント付与禁止問題の解決
  - (2) より効果的かつ効率的な医薬分業体制の推進
  - (3) 代替調剤、テクニシャン制度、リフィル処方などの研究
  - (4) 業界および一般生活者に面分業のメリットの説明と訴求
- 4) 人材育成
- (1) 登録販売者の資質向上継続研修の充実・拡大の支援
  - (2) 薬剤師の資質向上支援（JACDS勤務薬剤師会）
  - (3) 薬学教育6年制における実務実習のあり方研究
  - (4) アドバイザー認定制度の一層の普及推進
  - (5) 介護情報提供員制度の拡大
  - (6) JACDS勉強会やセミナーの実施
  - (7) 城西大学コミュニティファーマシーインターンシップの実施
- 5) 会員サポート事業
- (1) 「有事対応マニュアル」（仮称）の作成
  - (2) 防犯対策への取り組み強化（万引き防止）の推進（緊急連絡網の整備など）
  - (3) EDI（流通BMS）の普及推進
  - (4) 社会貢献活動（支援募金、地球温暖化対策）に関する情報提供と普及推進
  - (5) 顧問団による会員サポートの充実
  - (6) 「行き過ぎた行政指導」への対応
  - (7) 気象庁の調査への協力
- 6) 行事・イベント
- (1) JACDS設立15周年記念セレモニーの開催（2014年9月予定）
  - (2) 米国調査団の派遣、セミナー
  - (3) 第14回ジャパンドラッグストアショー  
2014年3月14日（金）15日（土）16日（日）千葉・幕張メッセ
  - (4) 薬剤師の資質向上に関するセミナー
  - (5) EDI 特別セミナー
  - (6) 面分業拡大に向けた特別セミナー
  - (7) 第9回セルフメディケーションアワード発表会&表彰式
  - (8) 第2回 健康（セルメ）川柳コンクールの発表会  
以上、第14回ジャパンドラッグストアショー同時開催
  - (9) 各種セミナー・勉強会の開催（予定）
    - ・ドラッグストア業界研究レポート報告会の開催（6月、11月）
    - ・流通システム標準化普及に向けた勉強会
    - ・JACDS会員合同勉強会
  - (10) その他
- 7) その他

### 3. 第14回JAPANドラッグストアショー開催概要

- テーマ やさしさ溢れるドラッグストア！  
～セルフメディケーションが日本の未来を創ります～
- 会期 ・2014年3月14日（金）、15日（土）、16日（日）  
開催時間 10：00～17：00（3日間）  
・3月14日、15日、16日 バイヤーズデイ  
・3月15日、16日 一般公開日
- 会場 幕張メッセ（4・5・6・7・8、ホール）
- 協賛 オールジャパンドラッグ（株）、（株）ニッド・日本ドラッグチェーン
- 後援 厚生労働省、経済産業省、千葉県、千葉市、中国チェーンドラッグストアチェーン、全米チェーンドラッグストア協会、米国大使館、駐日大韓民国大使館、台湾貿易センター、日本政府観光局、日本OTC医薬品協会、日本貿易振興機構、社団法人シルバーサービス振興会、財団法人日本健康・栄養食品協会、社団法人日本果汁協会、一般社団法人ペットフード協会、日本ジェネリック製薬協会、（株）プラネット（予定）
- 入場料 無料
- 来場見込 約12万人（3日間延べ人数）
- 見どころ  
「高齢社会とセルフメディケーション推進への新たな挑戦」として  
(1) JACDSのテーマイベント  
・セルフメディケーション推進を図る、薬剤師、登録販売者の活用促進や健康食品の表示緩和に基づいた対応概念の提案  
・小商圏マーケットを獲得するための新しい取り組みについての課題と提案  
・助言や相談・情報提供を適正に行う資質向上を図る各種教育制度概要紹介  
(2) ヘルス&ビューティ情報ステーションコーナー  
・ビジネス向けとして、「ドラッグストアのやさしさ提案」「集客併設事業提案」「ネット環境提案」などを提案  
・一般向けとして、「シニア層のネット活用紹介・体験」「アクティブシニア生活提案」「花粉症改善」などを提案  
・体験できる、「救急救命情報」や「ビューティコーナー」を設営  
(3) 第2回 健康(セルメ)川柳 作品展示、優秀作品発表  
前回大好評の、健康(セルメ)川柳 をイベントステージ横で展示予定